



2022年足立平和行進 (7月28日 北千住駅西口・ペデストリアンデッキ、写真: 濱谷正支)

安倍元首相の死と民主主義

副会長 井藤 英治



東京都本部
「不屈」No.578付録
東京版No.479
治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034

東京都文京区湯島2-7-8
芳音お茶の水ビル1F

電話 03(6240)0283

FAX 03(6240)0284

振替 00100-5-99628

E-Mail tokyo-chian@
bz04.plala.or.jp

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理をあらわす。おこれる人も久しからず、ただ春の夜の夢のごとし。たけき者もついに滅びぬ、ひとえに風の前の塵に同じ。

およそ800年前の平家の栄華没落を描いた有名な一節である。去る7月8日に銃弾に倒れた安倍元首相の長期政権のおこりと重なるものがある。この蛮行を非難する。参院選の投票票日の直前に、しかも街頭で遊説中に、現役の有力政治家である安倍氏が撃たれたことはあまりにも衝撃的だ。選挙は、民主国家の基礎中の基礎である。そこでは思想信条の自由、言論・表現の自由、投票の自由が、厳格に守られなければならない。このようなマスコミ各社のあたかも自民党が議会制民主主義を守ってきたかのような報道に違和感を感じない。

自民党・安倍元首相らは、特定秘密保護法、共謀罪法、戦争法、土地規制法など国会審議を十分に尽くさず、強行採決を重ねてきた。どう見ても議会制民主主義を守ってきた、とはいえない。「森友学園、加計学園、桜を見る会」などの問題を真摯に説明責任を果たしたとはいえない。このような政権政党が民主主義云々を語る資格は全くない。

さらに、戦前、戦争反対、思想信条の自由、男女平等を叫び民主主義を求めて命がけで闘っていた人びと、治安維持法により牢獄に入れられた数多くの人びとが命を失ったが、これに対して「(同法は)適法に制定され、勾留・拘禁、刑の執行も適法だった」とし、「損害を賠償すべき理由はなく、謝罪・実態調査も不要だ」と金田法相(当時)は「決着している」と言わんばかりである。

このような政府に対して、我々は一寸たりとも手を緩めるわけにはいかない。増本前会長が提唱していた通り「2020年代にこの問題に決着をつける」ためにも、治安維持法・国賠同盟の質・量ともに強化する必要がある。また、元首相が関与した「モリ・カケ・サクラ」などについても塵のごとく忘れ去ることはできない。徹底究明をする必要がある。

第45回都本部大会を全支部の前進で、1300人 都本部を達成して迎えよう

第14回理事会 7月27日

参議院選東京選挙区で山添拓さんが勝利しました。この成果から学び、市民と野党の共同強化のために同盟として全力をあげましょう。「7月8月を会員拡大、支部建設目標達成活動強化期間」と位置づけ、都同盟1300人達成にむけて各支部毎月1人の拡大と5支部増に力をよせましょう。

会員拡大

支部建設・「千代子」上映会など
と結び6月は5支部で8人拡大。
第40回全国大会の経験から学び、
第2次「千代子」上映運動と結びつ
け、1300人目標を達成しまし
う。現在1274人。

女性部

全国女性交流会は11月6～7日に
開催。各支部の募金で5人代表派遣
をめざしています。

都本部財政

会計実務の改善を22年度より始め
ています。4～6月で173千円の
赤字。会費の納入が25%目標で15%
の到達です。大会までに22年度会費、

支部建設

港区で映画「千代子」上映を機に、
9月11日に港支部を結成予定です。
文京区では、11月の「千代子」上映

第45回都本部大会 9月19日(月・祝)

■記念講演

講師 山田 朗(明治大学文学部教授)

■第45回大会

13～16時

いずれも会場は、文京区民センター2階です。

*大会代議員だけでなく、会員・読者の皆さんも積極的参加を。
*なお、大会当日は13時半から代々木公園「さようなら原発・
1000万人市民アクション」が開催されます。各支部から参
加を組織してください。

50%以上の納入をめざしましょう。
映画「千代子」第2次
上映運動について

第1次上映運動の取り組みから学
び、全支部で上映計画を立てましょ
う。特に青年、女性への働きかけを
重視しましょう。

▼関東ブロック会議▲

10月16日(日)～17日(月)

山梨県清里高原伊予ロッジ
参加費 11000円予定

■会議日程■

8月12日(金) 三役会議

8月24日(水) 理事会

*いずれも会場は文京区男女平等
センター13時30分開会です。

■都本部の活動日程■

7月10日 参院選投票日

7月14日 亀戸事件実行委員会

7月19日 総がかり国会前行動

7月20日 中央三役会議

7月21日 都・三役会議

7月27日 理事会

都本部45周年を迎えて

都本部顧問 四津谷 伸子
1977年東京支部として発足し
た都本部は45周年を迎えました。お

コロナ禍の紙上活動交流 21

幾山河

2008年の「秋葉原の無
差別殺傷事件」の犯人の死刑
が執行された。この時、瀕死
の重傷を負わされた被害者の
感想を聞いて胸を打たれた。

「なぜ今なのか? 同様な事
件が起きないようなヒントが出
るとすれば執行しなくてもよかつた
かもしれない」「彼自身、彼の起
こした事件についてわかつてない
と思う」とある調査で「どんな
社会を望むか」との問いに「消え
てしまいたいと思わなくてよい社
会を」との若者の一言があつた。
一方で人件費を抑えられるので日
本で製造をすることにした外資企
業の報道があつた。かなり多くの
現役世代の抱える不安の底の深さ
を考えさせられる。ここに占いや
新興宗教が巧みに入っているのか?
▼さて、旧統一協会は反社会的活
動ゆえか、名称を変更している。
さらに、与党政治家の多くが癒着
している事実が明るみに出てきた。
政教分離を原則とする憲法にまさ
に違反している。生活不安を持ち
信仰にすがる庶民の暮らしを顧み
ることもなく、利用し、利用され
ている政治家。徹底的に追及をす
る必要がある。

(風)

「憲法が、希望。」を掲げて

参議院議員 山添 拓 (都本部青年部長)



つかむことのできたかけがえのない勝利です。

「憲法が、希望。」と掲げてきました。自民党は、ウクライナ危機に乗じて軍事費増額と大軍拡、憲法9条改定

東京選挙区から二期目へ送り出していただきました。街頭演説では、どこでも「初めてきました」という方にお声がけいただき、事務所が呼びかけた証紙貼りやポスティングのボランティアには300人以上の方が登録、インターネットのSNS上でも多くの方が国会質問動画を拡散して応援いただきました。序盤から報じられた「当落線上」から、文字通り押し上げていただき、

で戦争する自衛隊へ変えようとならっています。物価が高騰するなか、給料が上がらず年金は下げられ、困難はいよいよ深刻です。暮らしに、平和に、憲法を徹底的に生かしていくことが求められます。憲法をいかし、希望ある日本に、国会内外で力を合わせ進める決意です。引き続き一緒にがんばろうではありませんか。

再び戦争する国にさせないために皆さんと一

す(参加者の「ワァー!!」という声)。昨年末に強行された秘密保護法はまさに治安維持法の再来であり怒りが燃え上がりました。また、集団的自衛権行使などの解釈改憲は断固許すことはできません。私たちは全国各地で犠牲者の名誉回復の黄色い署名と同時に秘密保護法の撤廃を求める運動を展開しています。

質問までしていたのはあきれた。やがて研究会や出版物が禁止され、戸坂潤は検挙、拷問、投獄。1945年8月9日終戦間際に獄死す

緒に力を合わせて頑張ります」犠牲者遺族の私は90歳になりました。証言できる間にどうぞ活用ください。東京都本部のさらなる発展を祈念いたします

青年劇場「真理の勇氣」を観て

荒川区 河合伸忠

5月に「真理の勇氣」を観た。

戦前の治安維持法がまかり通っていた時代に、戸坂潤は「野蛮で反知的なファシズムに対し、我々はあくまでも知性を武器にして闘い抜く」と科学的な思想を身につけて武装し、仲間達と闘い続けた。その活動を克明に描いていた。

特高に「危険思想を広める恐れがある」と監視下に置かれる。監視というと尾行・盗聴などを思い起こすが、なんと、話し合っているそばに机を並べ、聞いているのだ。監視するにも、難解な言葉に戸惑い「もつとわかる言葉で話せ」と言っていたのに笑ってしまった。

めでとうございます。

40周年時に克明に編纂された歴史と犠牲者名簿の記念誌、そしてDVDを何度も読み、見返しました。この資料は運動に携わる者にとって、歴史を学び引き継ぐための指針となっています。改めて2年がかりで発行された、清水邦治、松井久雄、藤本真澄、風間秀子、井藤英治諸氏に心からの敬意と感謝を申し上げます。

DVDをかけるとメーデー歌が

犠牲者の遺族として伝える役目をとおり、同盟に参加し、女性部で活動してきました。「署名活動」

「私の父は治安維持法の犠牲者でした。私も1歳時、母に背負われて両国署に留置された生き証人です。」

流れます。「キケバンコクノロウドウシヤ、トドロキワタルメーデー」の3歳の私が母と手をつないで会議の帰路で歌いました。続きは難しくてただフンフンフンとしかわかりませんでした。『小さい同志』は「こい、こい世界の小さい同志」と全部を今でも覚えていて歌えます。

「春を呼ぶつどい」「全国女性交流集会」「母親大会」「婦団連」など様々な女性団体で治安維持法の悪法と犠牲者への謝罪と賠償運動を訴えてきました。特に国際女性デーでは、参加団体が多いので1分発言でした。2014年3月8日、国際婦人デーの時の発言です。

国葬強行によみがえるアベ政治の記憶

川嶋 均（東京藝術大学講師）

2015年に安倍内閣が強行した安保法以来、日本で強まる軍事大国化の流れ。今回の参院戦でも、敵基地攻撃能力や日本の核武装論の急先鋒に、安倍元首相がいた。安倍内閣で副首相を務めた人物は「改憲はナチスの手口で」と言い、安倍内閣の法務相は「治安維持法は当時適法に制定された」と人権抑圧の歴史を正当化し、現代の治安維持法・共謀罪法を強行した。ドイツでナチ独裁の実現に力を発揮した全権委任法と、自民党改憲案にある緊急事態条項との類似性。通算8年7カ月にと及んだ安倍政権の影は、モリ・カケ・桜にとどまらず、今も様々な形で現政権に引き継がれている。

そんな安倍元首相が銃撃され急死した。慰安婦番組へのヤジ、弾圧事件など、戦前回想ともいわれた言

論封殺にむしろ親和性を
もち、一方では日本の警
察国家化を押し進め、数々
の治安立法を強行しては
た安倍氏が、演説中によ
弾に倒れ肉なとは、歴史は
何も皮肉な犯し、安倍氏
身が温存は、自民党の権
構に造に深く入り込む旧
一教会の被害者だったと
いうさらな皮肉。
岸田政権は、その安倍氏
の葬儀を、国会にも諮ら
ぬまま、こともないろ
憲法上、根拠のない国葬
執法と民主主義を破壊し
たアベ政治に傷つき、ら
人生を賭して立ち上るの
人々を怒りが、いまの中
に渦巻いている。国葬の
強行は、新たな政治変革
の炎に燃え立たせ
うかかないだろう。

(2022年7月31日記)

る。
劇中半ばに、戸坂には妻がいたが恋人を妊娠させてしまい、その件で恋愛論を語り合う場面



がある。戸坂の行動に違和感を感じると率直に意見を述べる仲間もいて、あの時代の若者の心意気を感じた。

あの暗い時代に理論武装して闘い続けた人がいたことに私は感心した。観劇後、思い出したが、若い頃、本郷のある旅館で学習会を開いていた。「外に公安がいる」との急報で裏口から別会場に移ったことがあった。真理の探究にはいつの時代でも抵抗があり、理論武装して勇

氣をもつて乗り越える大切さを教えている。

それにつけても、元総理を銃撃殺害した行為は許せない。改めて戸坂の冒頭の言葉を思い起こしている。

終戦記念日をアピール

荒川支部 風間秀子
8月1日に8人で「終戦記念
日」のアピール街宣をしました
何十年も続く「原爆と人間展」
(8月5〜8日)と今年初めて

取り組む「平和のため
の荒川戦争展」（8月
13〜15日）を成功させ
て、終戦記念日を迎え
ようと訴えました。

いづれも荒川区と教
育委員会の後援があり
ます。

暑い中、街宣に取り組む荒川支部の皆さん



川柳

植竹團扇選

改憲たいざ出陣だ国葬だ

新宿区
阿部
俊雄

主なき庭に紫陽花見事なり

荒川区 馬籠由美子

テロ行為許さない国葬は別

豊島区 藤本 増美

宗教に暮らしと心破壊され

荒川区 風間 秀子

微力でも無力に非ず汗をかく

調布市 稲邑 明也

終戦日涙浮かべた母の顔

足立区 高橋 陽子

独裁者なおウラを搔く事はかり

八王子 清水 邦治

罪人を笑止千万国葬に

中野区 中嶋 育雄

鋤よりも干戈を磨く永田町

中野区 根岸 俊雄

バス通り裏で向き合う窓と窓

團扇



【読者のみなさんの投稿歓迎】